苫工同窓会

発行
苫工同窓会本部
幹事長　紺屋　隆
苫小牧市高丘6－22
TEL0144－37－3088

平成25年度　総会
役員改選
―任期を1年延長―
創立90周年に傾注

平成二十五年度定期総会が五月二十五日（土）、グランドホテルニュー王子において約七十名の出席のもと、開催されました。

岩本会長より、創立90周年に向けての協力要請がありました。特に募金について「現在、当初希望額の三分の一であり、七月末の募金締切には目標額を達成出来るよう一段のご協力をお願いしたい」旨の挨拶がありました。

続いて、猪瀬校長より、創立90周年に対する同窓会の協力に感謝のことばがありました。

引き続き事務局より報告事項、協議事項の説明があり、原案通り承認されました。

創立九十周年記念

第三号議案として創立90年記念について報告がありました。

協賛会常任理事会は平成24年度中に五回開催され、次のように決まり進められています。

☆事業
・記念植樹（ヤマザクラ）
・屋内体育館放送設備の更新（平成25年1月設置済）
・吹奏楽部楽器の購入（平成24年12月購入済）
☆募金
・平成25年7月末まで募金を継続。

役員改選

本年度は役員改選期のため、第三号議案として協議しました。

事務局より「本年度は創立90周年の年であり、いま改選することは事業推進の上で支障がある。このため特例として任期を一年延長したい」との提案があり、協議の結果、満場一致で承認されました。従って、役員改選は来年度行うこととし、今後一年間は全役員、一丸となって90周年記念事業に向けて取り組む事が確認されました。

感謝状の贈呈

同窓会発展に功労のありました次の方々に感謝状の贈呈がありました。

・城地哲夫様
支部長歴任
（中標津支部）
・生出裕喜様
支部長歴任
（王子研究技術支部）
・石川孝一様
支部長歴任
（王子汽力支部）

寄付・寄贈

総会に於いて、次の寄付・寄贈がありました。

○寄付・90周年記念事業費として

苫工同窓会六華企業会より90万円の寄付があり、代表の山﨑晴生氏（電31）から岩本会長へ渡されました。

○寄贈・創立90周年を祝って

苫工と同じ一九二三年もののブランデーを内田忠吉氏（電43）より同窓会へ寄贈されました。

○寄贈・創立90周年を祝って

学校へ「小檜山博全集（八巻）」を電気43回札幌会より贈呈、代表の蹴揚文雄氏より猪瀬校長へ目録が渡されました。

懇親会

（渡邊教頭・福井事務長歓迎会）

総会後、同会場において懇親会が行われました。

乾杯は、苫工女性第一号卒業生の工化28回須藤文世氏により、「九十周年の成功を祈念して」のご発声で乾杯。

懇親会では、恒例となっています各支部の状況報告がありました。

つづいて小林酒造杜氏の南氏（化59）の協力により抽選会が行われました。

今年もこの他に、早来支部より、名産のカマンベールチーズセットの寄贈もあり、盛会に進められました。

予定時間も進み、リーダーの建築科・渡部先生（設備平成16）のもと、全員で大きな輪になり校歌の大合唱。締めは鈴木　智氏（機17）のご発声で万歳三唱。

来年度も同会場で5月31日（土）に開催されることが告げられ、散会となりました。

「九十周年」と「苫工桜」

会長・岩本靖雄

今年も遅い春と言われながら苫小牧市民文化公園（旧苫工校舎跡地）の「苫工桜」が見事な花を咲かせ訪れる市民の目を和ませてくれた。日本人の心の花といわれるこの薄紅色の花が長い歴史の母校をこの大樹はどのように見て成長して来たのであろうか。

このエゾヤマザクラは、元教員の茶木先生が機械科に着任された昭和19年に機械科実習棟の中庭に苗木を植えられたものだそうです。爾来、昭和58年に高丘に移転するまで、母校の発展を見届けて来ました。その後は、この公園の名木として市民に親しまれて来た訳ですが、この樹齢90年を超えた老木を現校舎敷地内に移植する事は無理ななかで、何とか母校創立90周年に合わせて、この桜の子孫を残すこと、それも現校舎に添わせてやれないだろうか。そう思案していたところ、2008年11月から国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」で管理されていた「苫工桜」の種子に望みをかけたのですが、残念ながら発芽せず落胆していたところに、同窓生から朗報、「苫工桜の苗木を育てているから、それを記念植樹に提供したい」旨の話しがあり、数量には限りがあったが、六華に因んで何とか六本を調達してくれたことに感謝するのみです。

記念植樹は在校生の各科代表と共に6月3日、校内中庭で執り行う事が出来、安堵すると同時に成長を見守っていきたいと思います。

記念事業の他二件についてですが、吹奏楽部への楽器寄贈、また体育館の放送設備改修は各行事、ことに卒業式・入学式に間に合うように、との要望が強いこともあり、今年一月までに全て購入を済ませる事が出来ました。

こうした設備の充実は、今後の学校教育への貢献度は非常に高いものであると思います。ことに生徒の喜びは一寸言葉では表す事の出来ない大変なもので、贈った我々の方が感激しました。これからは大切に使ってもらい、力を発揮してくれる事を願うところです。なお、こうした事業の費用は同窓生諸兄からの募金によって賄われますが、現在のところ、満足な状況ではなく、90周年記念事業を成功させるためにも皆様方の絶大なるご協力を切にお願い申し上げます。

名越晴男副会長
母校全校生に講演

五月十四日（火）、職業指導講話で「働くことそして学ぶこと」と題して名越副会長が母校在校生に講演を行いました。

氏は苫小牧市議会議長を歴任、六十代で苫小牧駒澤大学を卒業、七十歳で北海道大学大学院修士課程に入学、現在二年目で修士論文に取り組んでいます。今もなお大学院生として勉学に励んでいる先輩を知るだけでも、生徒には大きな刺激となったはず。

「生涯、学ぶ習慣を失わず、自分を磨くことに努力する人に。」、「社会でのコミュニケーションを大切にして、悩みは仲間に相談して力を借りること」。まとめに「やれば出来る、という精神は苫工時代に培われたもの。皆さんも挫折を恐れず、諦め事なく努力して下さい」と後輩に熱っぽく語り掛けました。

創立90周年を盛大に祝う
関東六華会

苫工同窓会関東六華会（坂本敏弘会長）が、本部に先駆け、六月八日（土）、銀座ライオン七丁目店に於いて、百名の出席のもと、母校創立90周年を祝いました。

総会に続き、創立90周年の記念行事として、日光アイスバックス前監督村井忠寛氏（建平6）の講演がありました。その後ソチオリンピック女子アイスホッケー代表候補の久保英恵さん（化平13）が紹介され、これまでの活躍を祝うと共に、苫工のホープとして今後の健闘に熱い声援が送られました。二名の歌手（ATUSHI・SACHI）も加わり、母校の90周年を盛大に祝いました。